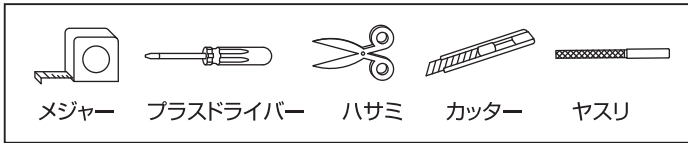


ノーカットロータリー網戸 取付説明書

この度は、『ノーカットロータリー網戸』をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
取付ける前に、この取付説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。(要保管)

本製品を取付ける場所は、ドア室内側の木枠の部分です。

必要な工具

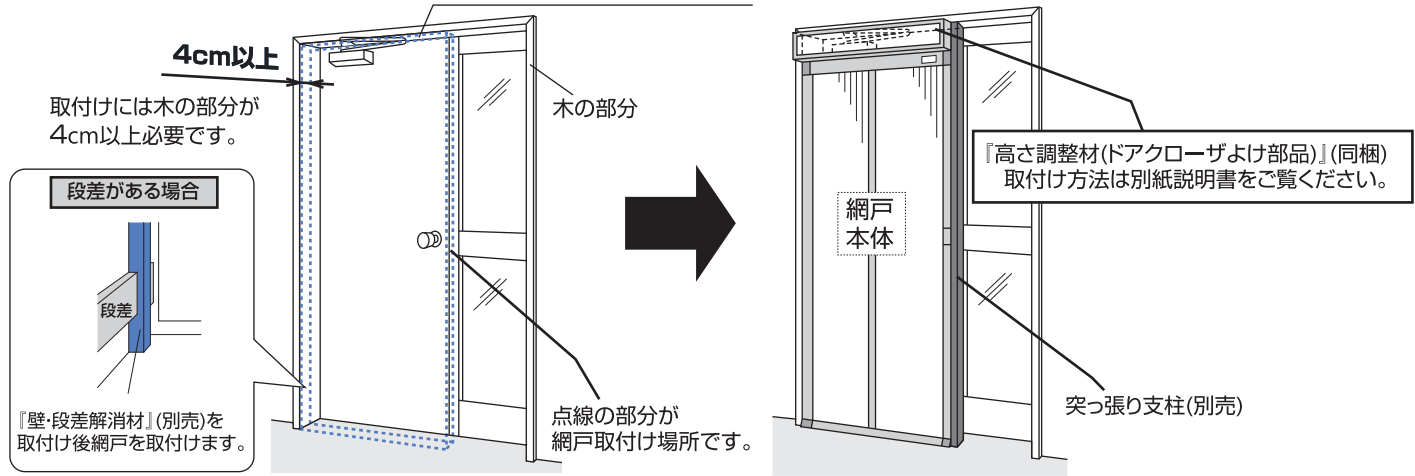


木以外の材質		注意事項
壁紙	裏側の材質 木	ネジがきく場合は取付けできます。
	石膏ボード	ネジが空転してしまうため取付けできません。
スチール(鉄)・アルミ		そのままでは取付けできません。 下穴開けが必要となります。
コンクリート		取付けできません。

取付け位置

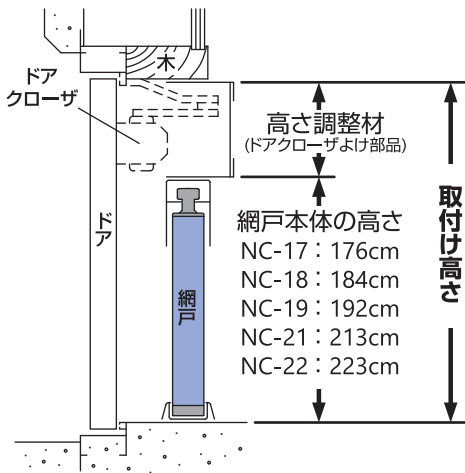
■袖付ドアの取付け例

ドアクローザは木枠より出ていてもOK!(最大3.5cmまで)



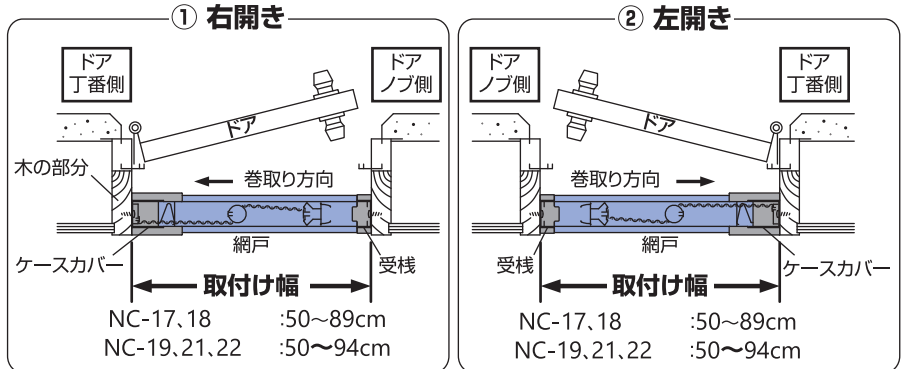
■高さ

網戸本体は切断せずに取付け、その上を高さ調整材(ドアクローザよけ部品)でふさぎます。



■幅

ドアの開きが左右どちらでも取付けできます。



この取付説明書は①右開きの場合を例にして手順を説明しています。
②左開きの場合は取付けが反転しますので、**③サイドブラケット**、**④ケースカバー** ④受棧の取付け位置に十分ご注意ください。

■安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアの隙間に手を挟まないよう十分ご注意ください。 ・アルミ材の端部は鋭利なため、人や物にぶつからないよう取扱いに注意してください。 ・網戸に寄りかかったり、蹴る等の強い力をかけないでください。 ・風の強い日の取付けは避けてください。部品が飛んで、ケガをする恐れがあります。
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容	<ul style="list-style-type: none"> ・取付け時にケガをしないように気をつけてください。 ・取付け前に床や網戸取付け面を必ず掃除して汚れを取ってください。 ・アルミ材を取付けた後、ドアの木枠からはずれないことを確認してください。

ドアの形状と別売品『突っ張り支柱』について

※引戸の場合、バーハンドル等が突出しているものには取付けできないことがあります。

	ドア	ランマ付き ドア	ランマ付き 袖付ドア	袖付ドア	ランマ付き 親子ドア	親子ドア	引戸 ※	ランマ付き 両袖ドア	両袖ドア
姿 図									
	そのまま取付けできます。		別売品『突っ張り支柱』1セットが必要です。				別売品『突っ張り支柱』2セットが必要です。		

あらかじめ『突っ張り支柱』を取付けの上、本製品を取付けてください。

部 品 一 覧

下記の通り部材がそろっているかご確認ください。お取り寄せの際は表記の部品番号・部品名称を合わせてお伝えください。

網戸本体

① 上レール
② 回転止め金具
③ ケース側サイドブラケット
④ ケースカバー
⑤ タテ棧
⑥ 巻軸
⑦ はめこみ棧
⑧ 下レール
⑨ 受棧側サイドブラケット
⑩ ケース側下レールガイド
⑪ 受棧側(受棧に取付け済)下レールガイド

取付け順序 **7** まで抜かないでください。

タテ棧ランナー
巻軸ランナー
金ノコ
取付けネジ 22本

『突っ張り支柱』(別売品)をご利用の場合

ケース側サイドブラケット
受棧側サイドブラケット
突っ張り支柱

※支柱側に取付けるサイドブラケットは、『突っ張り支柱』付属の『網戸取付けネジ』で取付けてください。

※サイドブラケットは、『突っ張り支柱』の位置に合わせ、網戸がドアと平行になるように取付けてください。

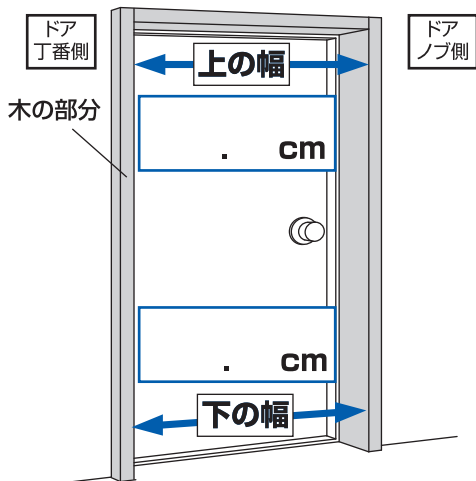
高さ調整材(ドアクローザよけ部品)は別紙説明書をご覧ください。

取 付 け 順 序

1 取付け幅を測り、レールを切断する

1 取付け幅を測る

ドア室内側の木の部分の、内側の幅を測ってください。

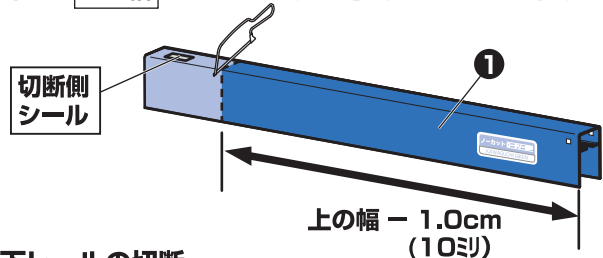


※別売品『突っ張り支柱』を使われるドアのタイプの方は、『突っ張り支柱』の説明書をご覧ください。

直角に切断するために、各面にえんぴつで線を入れノコ刃を軽い力で何度も往復させながら1面ずつ順番に切断してください。

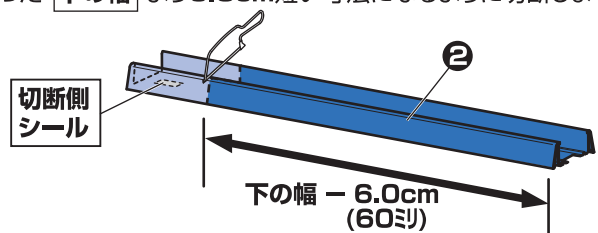
2 上レールの切断

測った **上の幅** より1.0cm短い寸法になるように切断します。



3 下レールの切断

測った **下の幅** より6.0cm短い寸法になるように切断します。



◎必ず『切断側シール』の貼ってある側を切断してください。

◎必要に応じて、切断面をケガのないようにヤスリで仕上げてください。

2 サイドブラケットの取付け

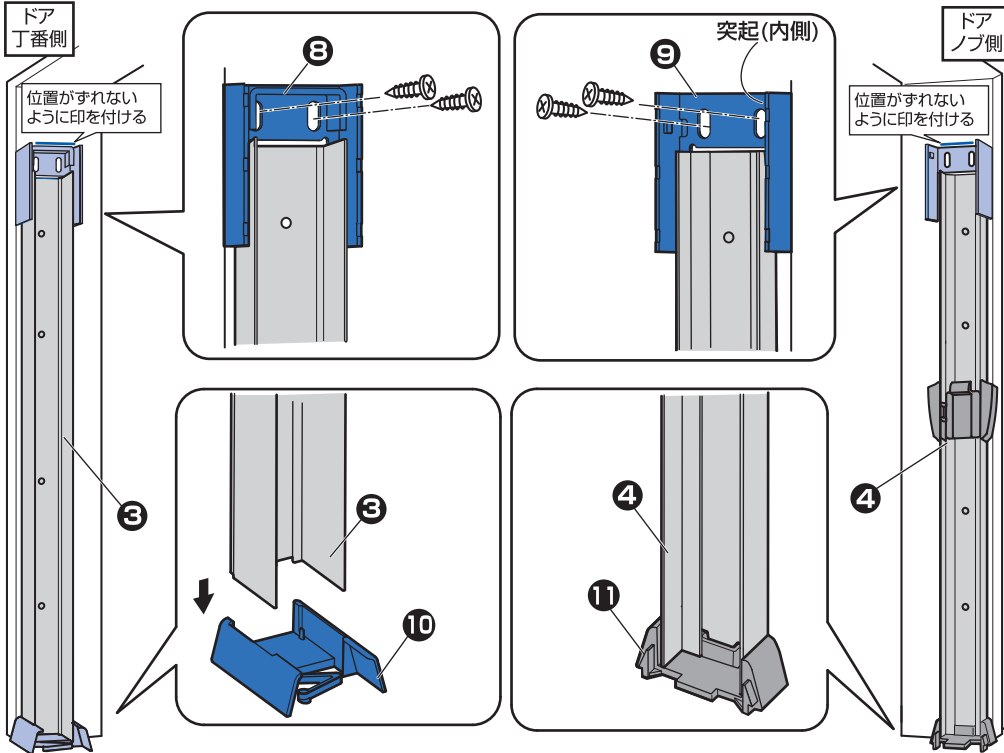
※網戸とドアが平行になるように取付けてください。

1 ケース側サイドブラケット(ドア丁番側)

③ ケースカバーの下に ⑩ ケース側下レールガイドをはめ込み木枠にあてがいます。ケースカバーの上に ③ ケース側サイドブラケットをのせ取付けネジ2本で固定します。

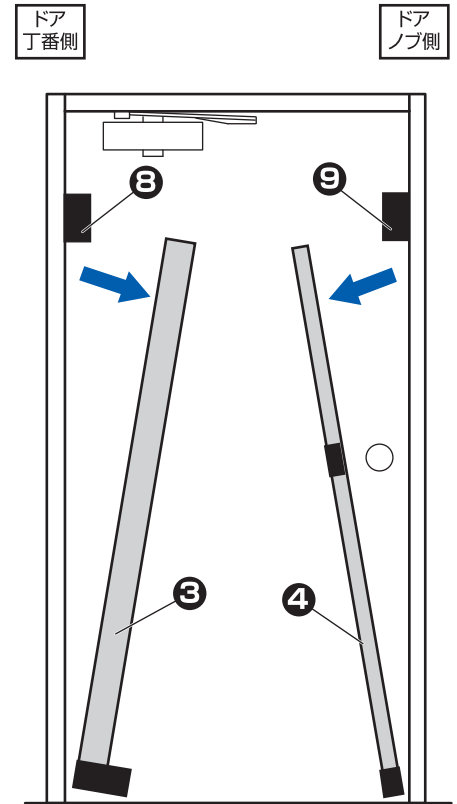
2 受棧側サイドブラケット(ドアノブ側)

① 受棧側下レールの付いた ④ 受棧を木枠にあてがいます。受棧の上に ⑨ 受棧側サイドブラケットをのせ、取付けネジ2本で固定します。



3 ケースカバー・受棧をはずす

木枠にあてがった ③ ケースカバーと ④ 受棧をはずします。



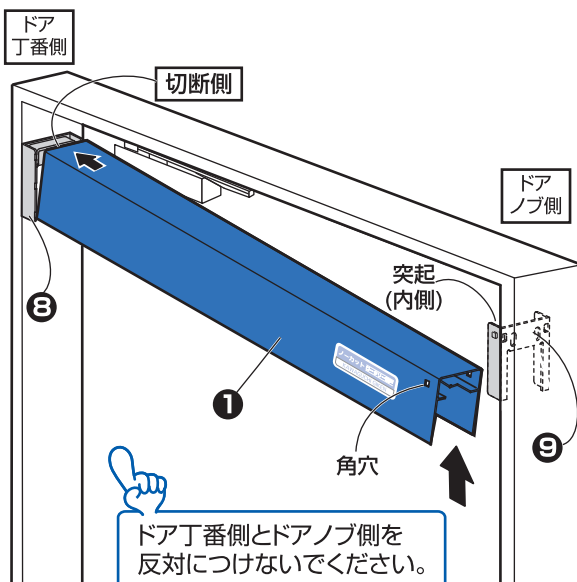
3 上レールの取付け

1 ドア丁番側

① 上レールの切断側を ③ ケース側サイドブラケットのツバに斜め下から差し込みます。

2 ドアノブ側

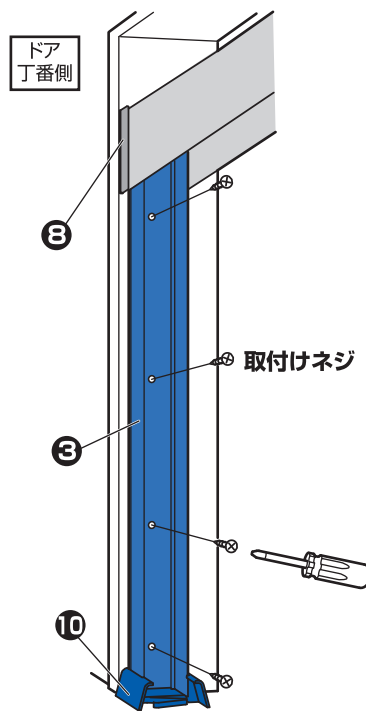
⑨ 受棧側サイドブラケットに上レールを下からもちあげてはめ込みます。上レールの角穴に受棧側サイドブラケットの内側の突起を合わせてください。



4 ケースカバー・受棧の取付け

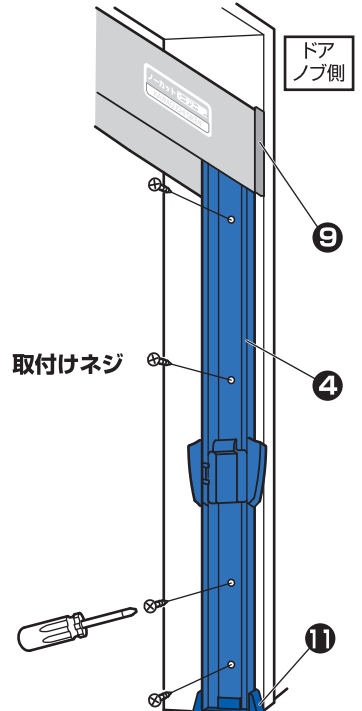
1 ケースカバー

③ ケースカバーと ⑩ ケース側下レールガイドを、③ ケース側サイドブラケットの下に置き、取付けネジで固定します。

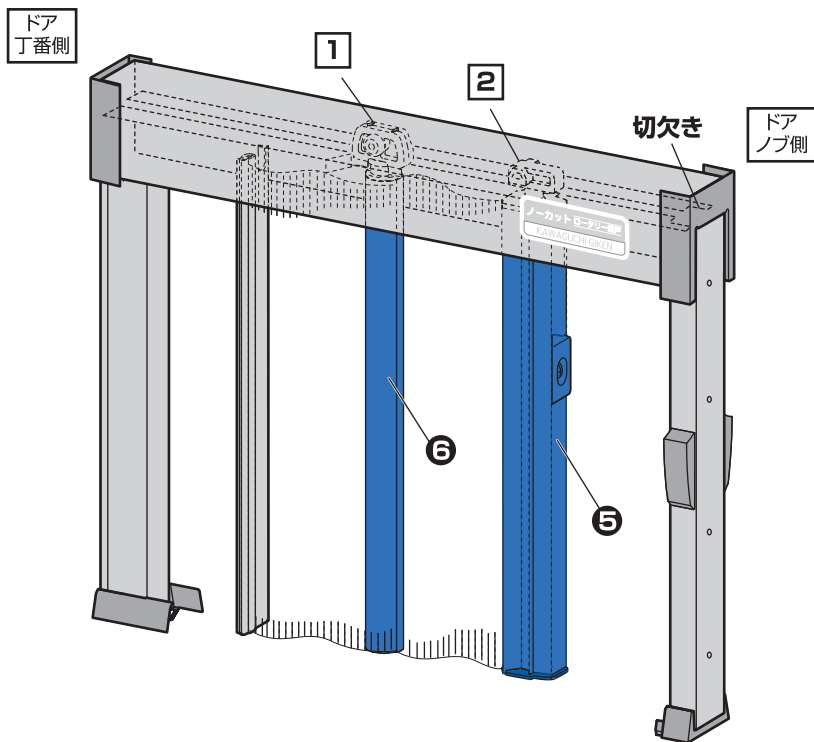


2 受棧

④ 受棧と ⑨ 受棧側下レールガイドを ⑨ 受棧側サイドブラケットの下に置き、取付けネジで固定します。

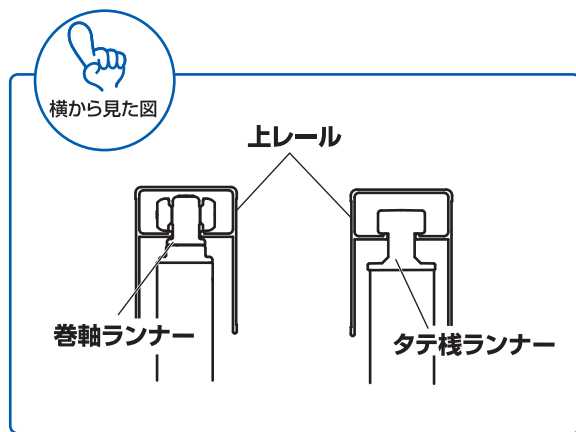


5 上レールにランナーを入れる



1 → 2 の順序で下図のように取付けます。

左図のように、巻軸に巻いてあるネットをすべて広げた状態で取付けを行ってください。

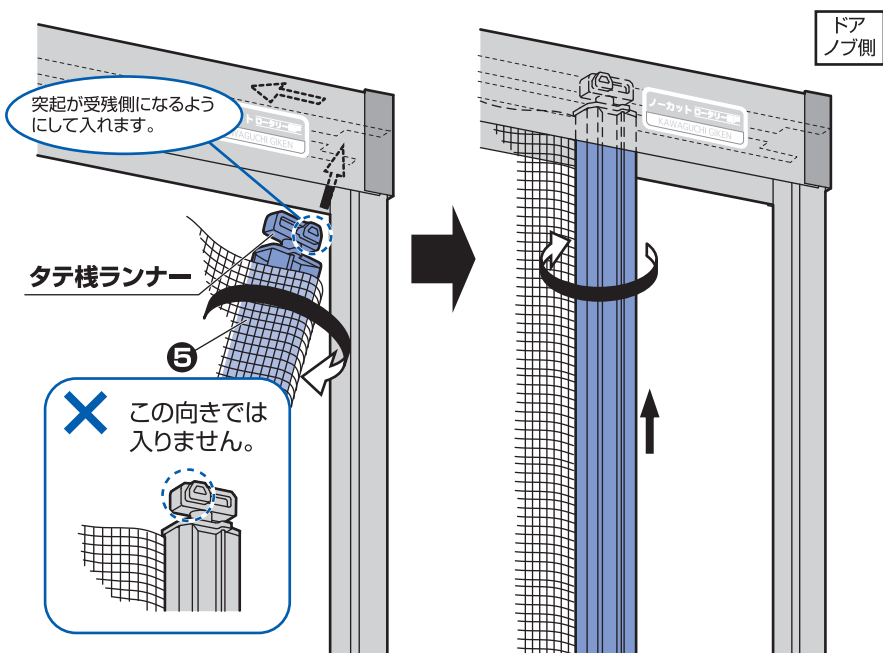
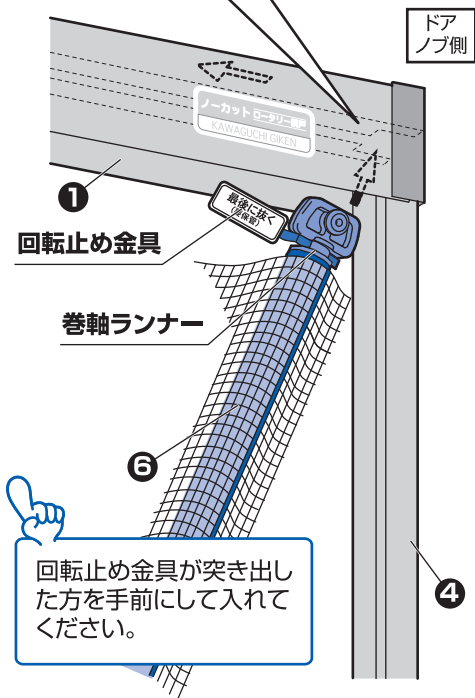
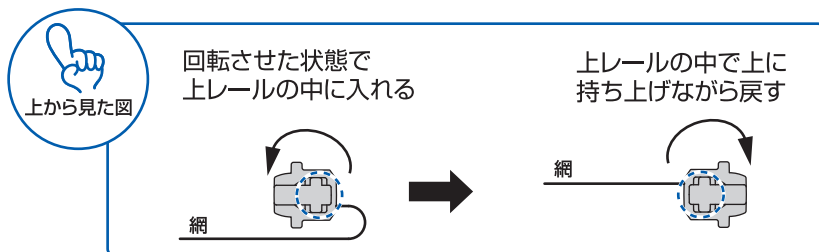
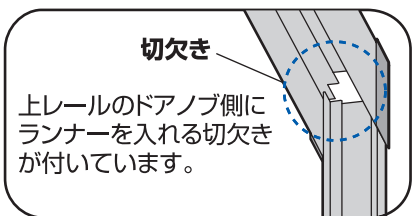


1 巻軸ランナーを入れる

⑥巻軸を図のように斜めにして、①上レールの切欠きより巻軸ランナーを入れます。

2 タテ桟ランナーを入れる

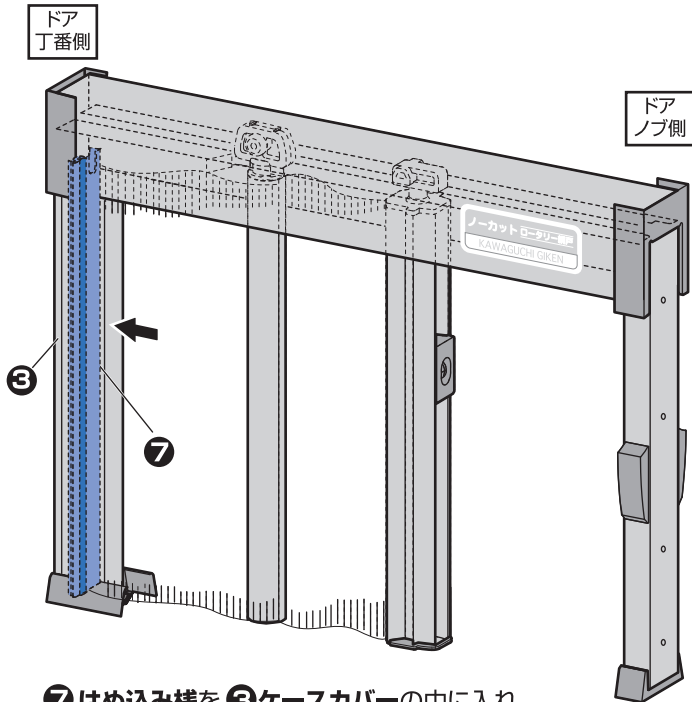
(1) ⑤タテ桟を図のように半回転回して、(2)タテ桟を上レールに向けて押し上げながら反転させて向きを戻してください。



✕ この向きでは入りません。

※タテ桟ランナーを半回転回さないと、上レールから抜け落ちてしまいます。

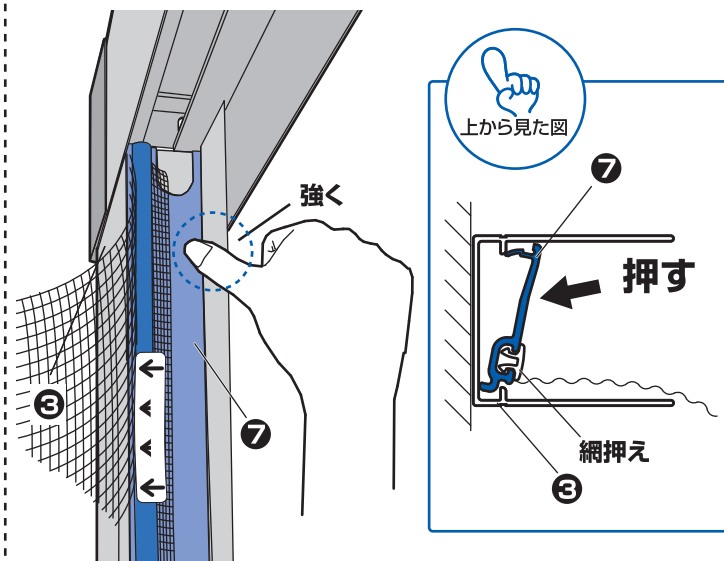
6 はめ込み枠をはめ込む



⑦ はめ込み枠を ③ ケースカバーの中に入れ、上端を合わせてから下へ順にはめ込んでいってください。

ポイント

シールが貼ってある方を先に入れ反対側を強く押します。

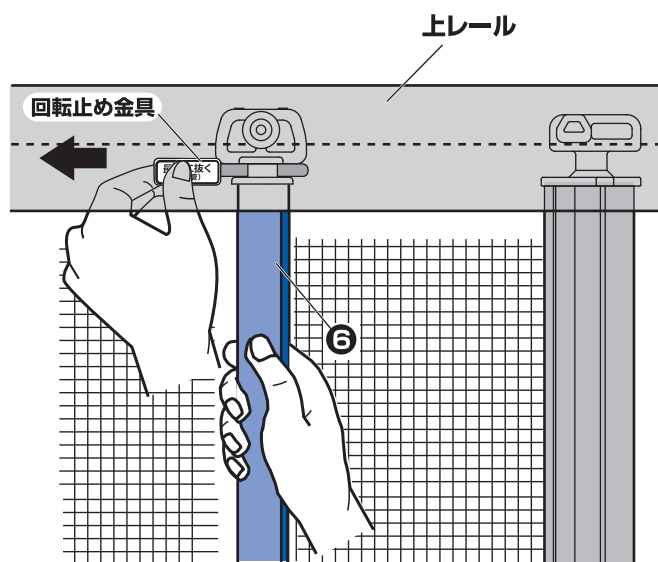
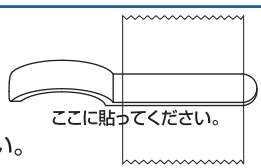


7 回転止め金具を抜く

- ⑥ 巻軸を手で握ってしっかり押さえます。
- 回転止め金具を矢印の方向に抜きます。シール部分を引張るとシールが破れる恐れがあるので金具を持ってください。
- 巻軸を押さえた手をゆっくりと離してください。回転力が発生し巻軸に網が巻き取られます。

❗ 取付け前に回転止め金具が抜けてしまった場合や巻き取りスピードを調整したい場合には、本紙の“巻き軸ランナーの巻き方”をご覧ください。

◎ 回転止め金具は、網戸本体を取りはずす時やネット交換の時に必要となりますので、セロテープでここに貼付けて、大切に保管しておいてください。

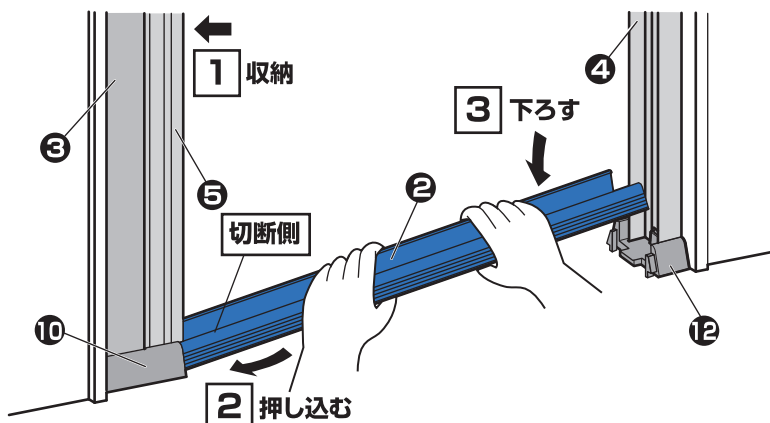


◎ 抜きづらい場合はペンチ等でつまんで抜いてください。

8 下レールの取付け

👉 下レール取付け床面周辺をきれいに掃除してください。

- ⑤ タテ枠を ③ ケースカバー側に収納させます。
- ② 下レールの切断側をタテ枠の下にもぐりこませ、⑩ ケース側下レールガイドに差し込みます。
- 反対側を下ろして ⑫ 受枠側下レールガイドに突き当てます。



引き続き…


別紙『高さ調整材(ドアクローザよけ部品)の取付説明書』をご覧ください。網戸上のスキマを埋めてください。

取扱い説明

■ お手入れの方法

- ・日常的には、柔らかい布でから拭きしてください。
- ・下レールにゴミ等がたまると網戸がスムーズに開閉できなくなります。下レールとその周辺はこまめに掃除してください。
- ・シンナー、ベンジン、洗剤は使用しないでください。
- ・たわしや金属ブラシ等でこすらないでください。 破損やキズの原因となります。

■ 網戸の開閉操作方法

 網戸収納時にケースカバーに手を挟まれないように気を付けてください。

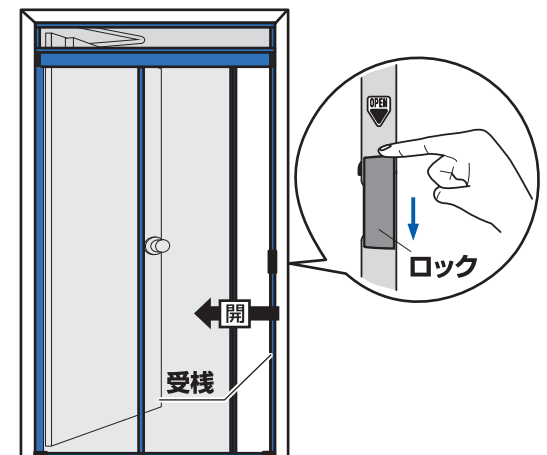
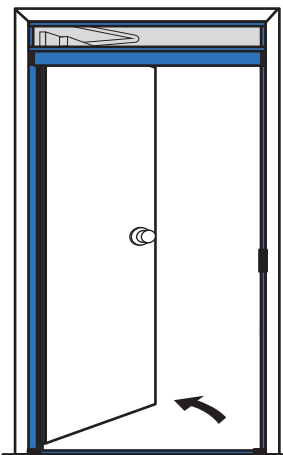
閉めるとき(網戸を使用するとき)

開けるとき(網戸を収納するとき)

1 網戸を使用する前にドアを開けます。

2 タテ棧のフック近辺を持って丁寧に操作し、ロックにかけてください。

受棧のロックを指で軽く下げてください。

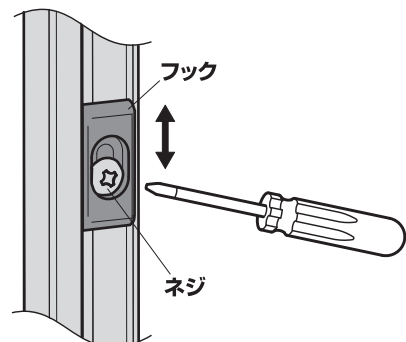
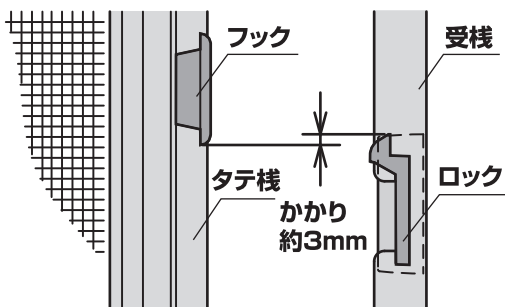


ロックのかかり調整

ロックのかかりが悪いときは下のよう直してください。

フックとロックのかかり調整はフックのネジを緩めて上下に動かして調整します。

かかりが約3mmになるようにフックをずらして調整してください。再びネジを締め直します。(強く締めすぎると空転する恐れがあります。)



それでもロックがかからない場合は上レールの取付け高さが正しいかご確認ください。

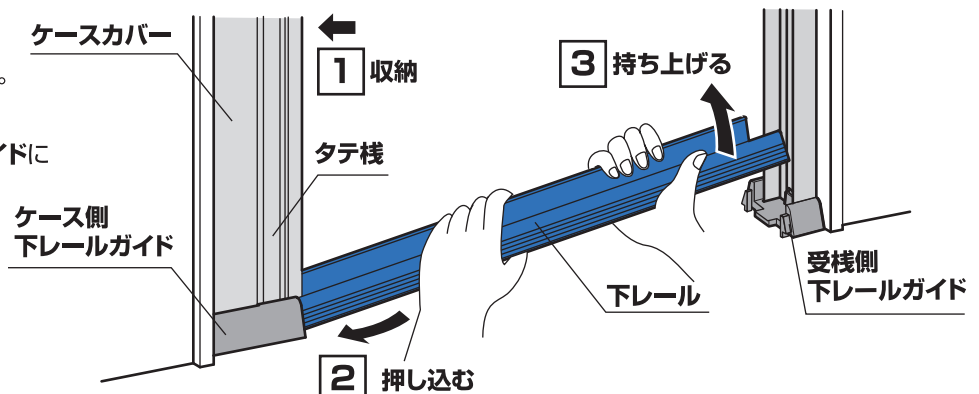
■ 下レールの脱着方法

掃除するときや長時間網戸を使用しないときは、下レールをはずしておくことができます。

1 タテ棧をケースカバー側に収納させます。

2 下レールを持って、ケース側下レールガイドに押し込みます。

3 受棧側を持ち上げて引き抜きます。

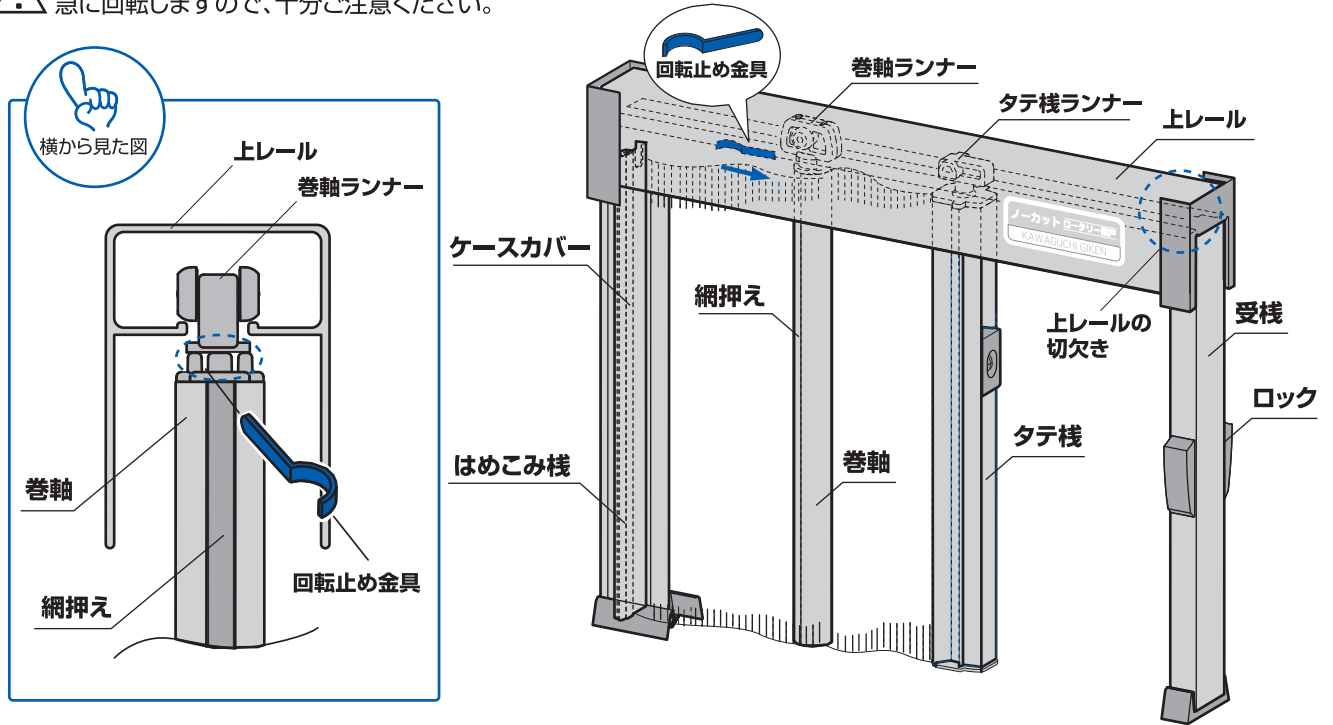


注)再度、網戸を使用するときは、下レールを必ず取付けてください。

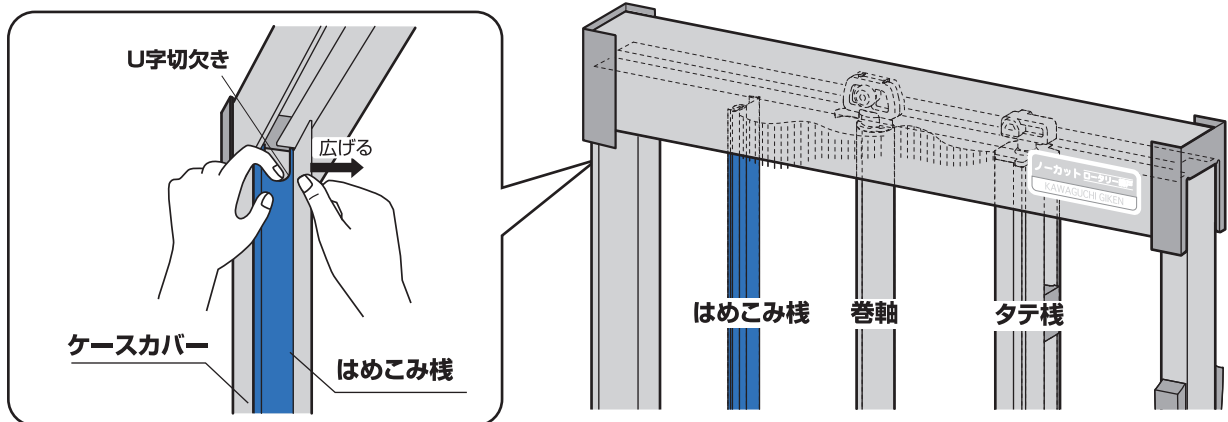
■ 網戸本体をはずす場合

- 1 巻軸を手に持ち、巻軸の網押えをケースカバーの方向に向けた状態で、回転止め金具を巻軸ランナーに差し込んでください。回転止め金具がうまく差し込めない場合には、そのまま取りはずしてください。

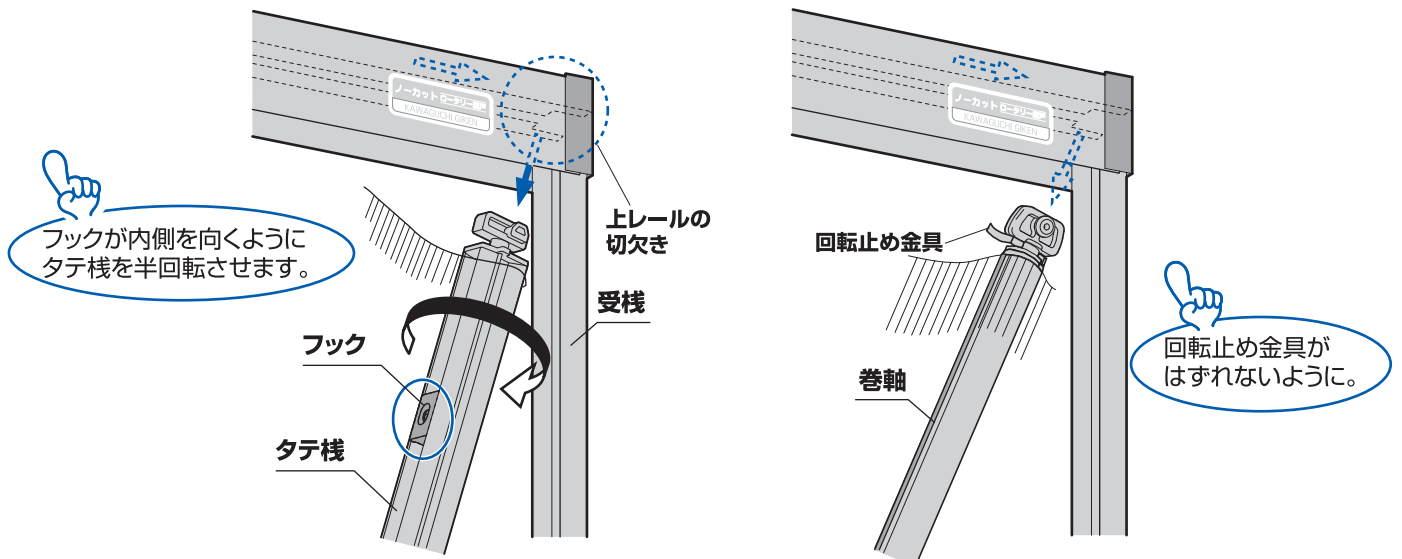
⚠ 回転止め金具を差し込まずに網戸をはずすと、巻軸ランナーが急に回転しますので、十分ご注意ください。



- 2 はめこみ桟上部のU字切欠きに指を引っかけて、ケースカバーからはめこみ桟をはずします。ケースカバーの側面を広げるように少し力を加えればはずしやすくなります。



- 3 タテ桟、巻軸を図の向きで上レールの切欠きよりはずしてください。



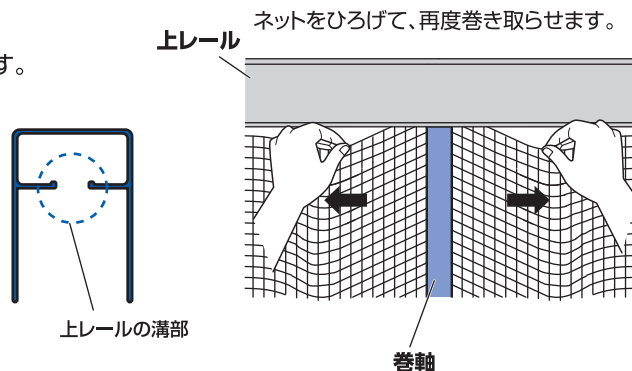
■その他、こんな場合のチェック方法

●ネットにシワができるとき…

右図のように一旦、ネットをひろげてシワを取り、巻軸に巻き取らせませす。

●網戸の動きが悪いとき…

上下レールがずれていないか、ケースカバー・受棧が垂直であるか確認してください。
それでも動きが悪い場合には、潤滑剤(市販の油性またはシリコン性のものが便利です。)を布に付けて、上レールの溝および下レールを拭いてください。
その際、ネットに潤滑剤が付かないように注意してください。



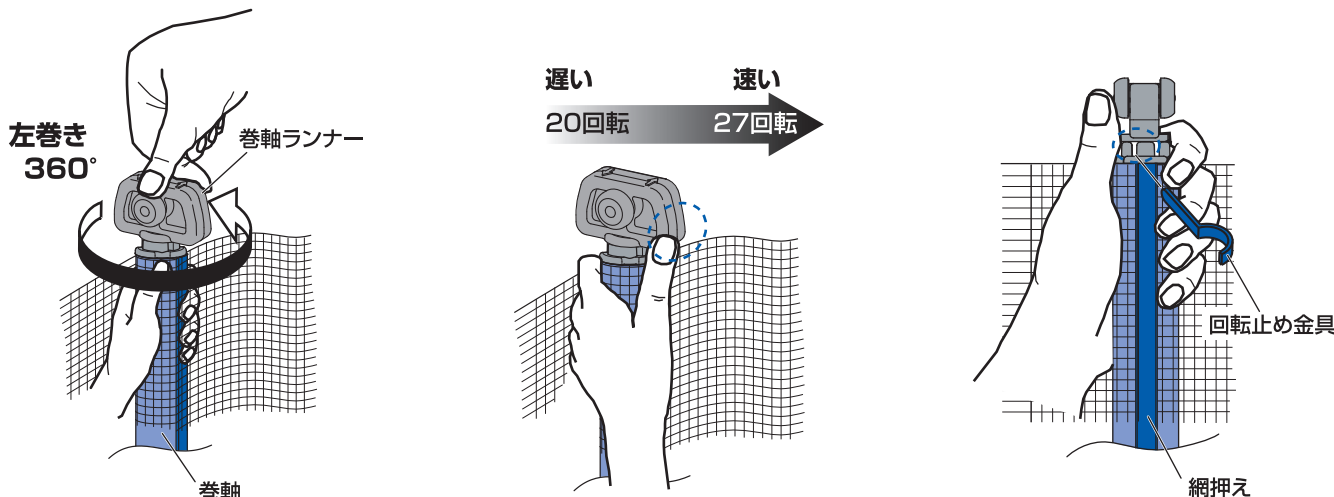
■巻軸ランナーの巻き方

- ① 網戸取付け時、上レールに巻軸ランナーを入れる前に回転止め金具を抜いてしまった場合。
- ② 上レールから巻軸ランナーをははずすときに回転止め金具を入れなかった場合。
- ③ 網戸の収納スピードを調整したい場合。

このような場合は下の方法で巻軸ランナーを巻いてください。



- 1** 巻軸をしっかり持って巻軸ランナーを左に巻きます。360°回して1回転です。
- 2** 巻軸ランナーには元に戻るバネの回転力が働いています。巻軸を持つ手の親指で半回転ごとにおさえながら20回転～27回転の範囲で巻いてください。
- 3** 巻き終わったら図の方向から見える隙間に回転止め金具を挿入します。巻軸ランナーの角度があわないと挿入しづらいので注意してください。



■材質

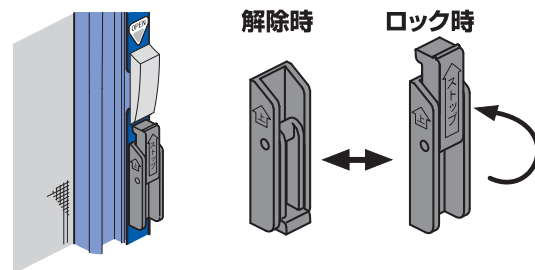
部位	材質	
網戸	各棧	アルミ
本体	ネット	ポリエステル

■部品のお取り寄せ

取替え用ネットがありますので、ご自分でネットの張り替えができます。
各部品の切断ミスや紛失時には、交換部品(有償)のお取り寄せが可能です。
(お問い合わせ・ご注文は、お買い求め頂いた販売店にお願い致します。)

■別売品 網戸ストッパー

- 室内側からのみ操作できるストッパーです。



⚠ ストッパーに防犯上の機能はありません。

製造販売元

株式会社 **川口技研**

〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
<https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

TEL 048-255-5411
 FAX 048-255-8228

Copyright (C) 2021 Kawaguchigiken, inc. All Rights Reserved.
 本取付説明書の内容の一部または全部を複製・改変して無断転載することは禁止されています。

高さ調整材 (ドアクローザよけ部品) 取付説明書

部品一覧

※ スキマの形状によって、使用しない部品もあります。

注意!

屋外で作業する場合、L型カバーを炎天下に放置すると、変形する恐れがあります。必ず陽が直接当たらない場所で作業してください。

取付け幅の確認

網戸本体の取付けの際に測った取付け幅をご記入ください。

取付け幅

. cm

この取付け幅Wは共通です。

●上レールの上のスキマの形状により、取付け方法が異なります。下記より選んでお取付けください。

ランマなし		ランマあり	
<p>スキマが5 cm以上</p> <p>ふさぐ高さ</p> <p style="text-align: center;">. cm</p> <p>a をご覧ください。</p>	<p>スキマが5 cm以下かつ ドアクローザが木枠より出していない</p> <p>ふさぐ高さ</p> <p style="text-align: center;">. cm</p> <p>b をご覧ください。</p>	<p>上レールがランマの横枠より下にある</p> <p>ふさぐ高さ</p> <p style="text-align: center;">. cm</p> <p>c をご覧ください。</p>	<p>上レールがランマの横枠の範囲にある</p> <p>ふさぐ高さ</p> <p style="text-align: center;">. cm</p> <p>d をご覧ください。</p>

◎上レールと上額縁の間にスキマがない場合は、『高さ調整材 (ドアクローザよけ部品)』は必要ありません。取付けは完了です。

a ボックスを作ってふさぐ

部材を切断して両面テープを貼ります。

L型カバー(長) × 2

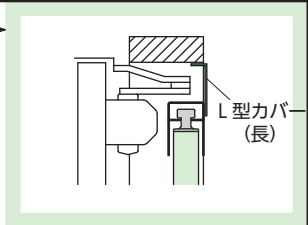
L型カバー(短) × 2

半透明シート(大)

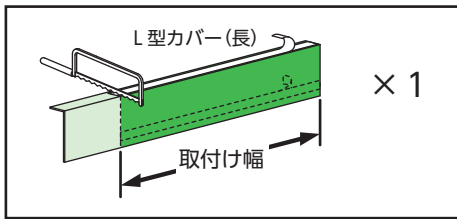
折り目は製品梱包のためですので、伸ばしてください。

- 1 L型カバー(長)を、ドアクローザに当たらない程度出幅を出して貼ります。
※ ドアクローザが出ていない場合は、出幅は0でOK!
- 2 両サイドにL型カバー(短)を内側から貼ります。
- 3 上コーナー部に、内側からL曲げシールを貼り、箱型を補強します。
- 4 半透明シート(大)をボックスの内側から貼って完成です。

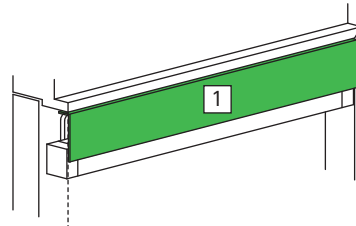
b L型カバー(長)のみでふさぐ



部材を切断して両面テープを貼ります。

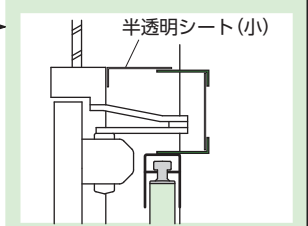


- 1 L型カバー(長)を、図の位置に貼って完成です。

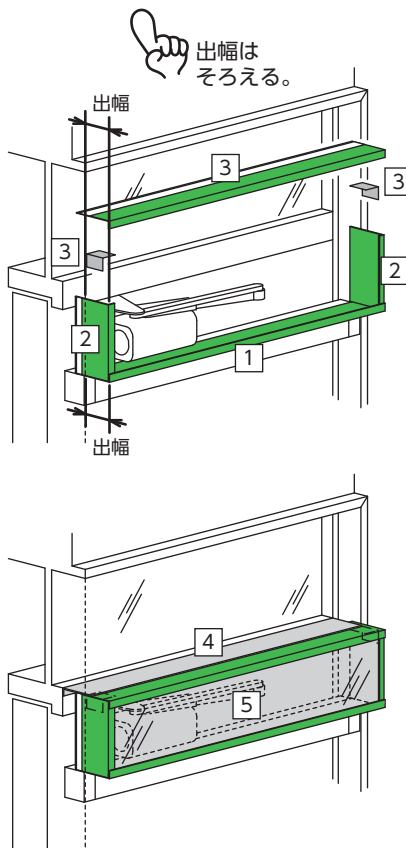
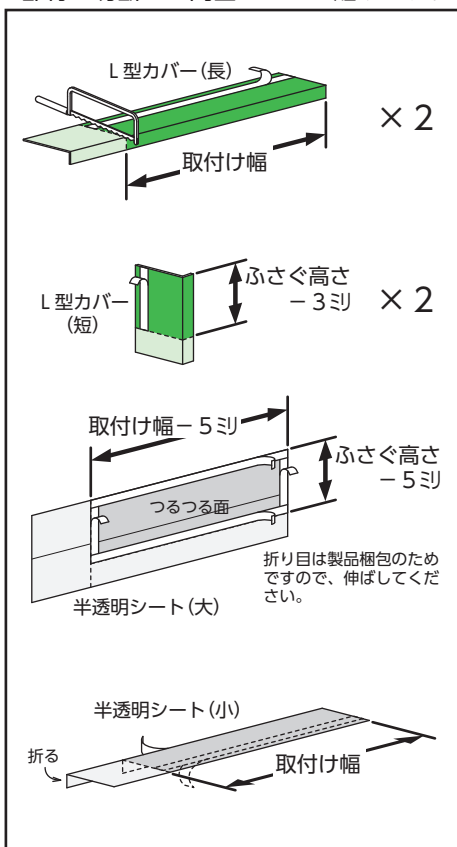


両面テープの位置は、取付け位置を確認してから決めてください。

c ボックスと半透明シート(小)でふさぐ

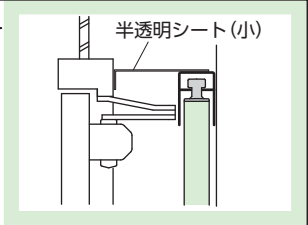


部材を切断して両面テープを貼ります。

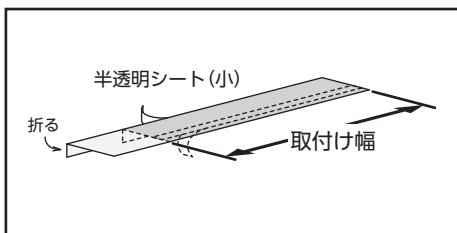


- 1 L型カバー(長)を、ドアクローザに当たらない程度出幅を出して、上レールに貼ります。
※ ドアクローザが出ていない場合は、出幅は0でOK!
- 2 両サイドにL型カバー(短)を内側から貼ります。
- 3 上側にL型カバー(長)をL曲げシールで固定します。
L曲げシールは、上コーナー部に内側から貼って、しっかりとした箱型を作ってください。
- 4 半透明シート(小)をランマの横枠と上側のL型カバー(長)に貼ります。
- 5 半透明シート(大)をボックスの内側から貼って完成です。

d 半透明シート(小)のみでふさぐ



部材を切断して両面テープを貼ります。



- 1 半透明シート(小)をランマの横枠と上レールに貼ります。
向きは取付け位置により適当な方を選んでお取付けください。

折り曲げる向きと両面テープの位置は、取付け位置によって異なりますので、まず取付け位置を確認してください。

